

いちのみや文化財たより

加納久宜公没後100年事業

今年2019年は最後の一宮藩主である加納久宜公（1848～1919）の没後100年の年です。

これを一つの節目として町・町教育委員会は記念事業を予定しております。詳細は広報等にてお知らせしますが、概要をお知らせします。

●加納久宜公没後100年記念式典

・とき…令和元年11月3日（日）

・ところ…一宮町振武館（長生郡一宮町一宮3404）

・概要…加納久宜公の遺訓「一にも公益事業、二にも公益事業、たゞ公益事業に尽くせ」を刻んだ石碑をお披露目します。
（建立は後日）

・問合せ…企画課（42-2113）

●ミニ展示「加納久宜と「東の大磯」

・とき…令和元年11月18日（月） ～ 29日（金） ※土日除く

・ところ…一宮町保健センター3階 小会議室

・概要…大多喜城での特別公開に先立ち、ミニ展示を行います。

●特別公開「玉前神社・一宮町の「宝物」 ～一宮藩と加納家～」

・とき…令和元年12月13日（金） ～ 令和2年2月9日（金）

・ところ…千葉県立中央博物館大多喜城分館

（夷隅郡大多喜町大多喜481）

・概要…加納家ゆかりの資料を展示します。

第2号
令和元年7月発行

【問い合わせ】
一宮町教育委員会
TEL:0475-42-1416
FAX:0475-42-1424

●シンポジウム「加納家と一宮」

・とき…令和2年1月26日（日）午後1時 ～ 午後5時

・ところ…一宮町中央公民館・大会議室

・概要…加納家ゆかりのある方々をお招きしてシンポジウムを開催します。

加納久宜（かのうひさよし）とは？

●一宮藩の最後の藩主。加納家が一宮と関わりを持つようになったのは、江戸幕府8代將軍の徳川吉宗の側近・加納久通（ひさみち）が一宮地域に領地を拝領したことに始まります。

●陸奥国下手渡藩（現福島県）の立花家の家に生まれた久宜は幕末に加納家に養子入りし藩主に。明治維新後は岩手師範学校長などを歴任しました。

●鹿児島県知事時代には教育や農業の面で多大な成果を残し、西南戦争後、荒廃していた鹿児島を立て直した「勸業知事」として評価されています。

●晩年には郷里の一宮町の町長をつとめました。町長に就任する前から、一宮では様々な事業に着手していました。婦人会や青年会の発足、消防組の組織、一宮病院・一宮女学校の設立、耕地整理、別荘地化など……。久宜は一宮の地元の人々とともに、一宮の発展に大きく寄与していたのです。